

2. 事業の報告

計画した事業

- (A) 納豆菌を付着した竹炭による水質浄化の簡素化を目指し、スポンジなどを混ぜて用いる方法での実施。
- (B) 浄化装置を増設し、浄化範囲を拡大する。
- (C) ゴミの拡散防止をするための更なる手立てを検証する。
- (D) 川底の粗大ごみの撤去と生き物の調査と展示
- (E) 事業に関する報告書の提出および成果報告会での発表

計画時の期待する効果

- 1、チーム竹姫のメンバー内での環境美化意識の高揚
- 2、ゴミのない親水空間を作ることで、ゴミのポイ捨てを減らしマナー条例順守を徹底させる。
- 3、市役所周辺の水域に花のある空間を作ることで、憩いの場を提供する。
- 4、大阪産大や「市役所周辺の小中学校の学生にイベントに参加してもらうことで環境美化の意識づけを図る。
- 5、水質浄化の方法を簡素化することで他の団体への波及効果が期待できる。

結果

(A) どんな内容だったか？集客数は？計画時の期待する効果と照らしてどうだったか？

炭の使用量 $700\text{g} \cdot 1\text{袋} \Rightarrow 600\text{g} \cdot 1\text{袋}$

1回の使用量が $6\text{kg} \Rightarrow 4\text{kg}$ に削減

作業場 20帖の空間 \Rightarrow スチール棚一本で賄える。

作業時間約 5時間程度から 3時間程度に短縮

- (B) 浄化装置の改良には成果がみられず、現在も実験中
- (C) ゴミの確保の効率が大幅 UP し、下流域への流失ゴミは、減少した。
- (D) 産大、近隣住民、市役所を含めて、一斉清掃を企画したが、「危険性が高い」との指摘があり計画延期をする。
- (E) 2月25日国際花と緑の博覧会記念協会主催の第5回みどりの交流広場で、成果報告とパネル展示を行った。
3月26日アクロスにて、成果報告会を実施予定。